



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校
学 校 だ よ り
3 月 号



【文部科学大臣表彰を受けました】

このたび本校が、文部科学省のキャリア教育優良教育校として、表彰を受けました。これは、これまで続けてきた「地元企業や団体と連携した取組」「顧客のニーズを意識した製品づくり」等について評価していただいたものです。

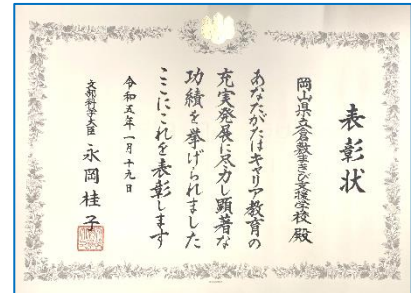
開校以来、地域の皆様から、様々な学習の場の提供や活動の提案等を受けて、学習に取り組んできました。中でも、地元企業の協力・指導を得て行っているパンや革製品の製造・製作と販売は、校内外で高い評価をいただいています。生徒自身が「売れる商品」について考え商品の質を上げていくことで、ものづくりの過程を学び、商品が売れる喜びを経験することができました。また、地域の清掃や花壇の手入れ等の活動、地域の事業所での継続的な体験実習等は、机上の学習ではない「本物」の体験を通じて、働く喜びを感じ、自己肯定感を高めることにつながっています。

こうした取組は、多くの地元企業の理解と協力のもと、学校運営協議会を活用して行っており、学校と地域が連携して、地域課題の解決や地域の人材育成にもつながるものと思っています。

令和4年度もまもなく終わろうとしています。来週には、社会へ巣立つ高等部3年生を送り出します。一抹の寂しさを感じながらも、これからそれぞれの地域で、豊かで幸せな生活がおくれることを願ってやみません。

末筆ですが、保護者・地域の皆様には、この一年本校教育に多大なるご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。心からの感謝とともに、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

（校長 梶谷淳子）



【コミュニティースクール】

2月28日（火）、第3回学校運営協議会を開催しました。

学校自己評価のアンケート結果や令和5年度学校経営計画等について委員の方からご意見をいただきました。その後、就労・環境・安全・福祉、教育の4つのグループに分かれ、今年度の反省をもとに、令和5年度の取り組みについて検討しました。

協議の途中の休憩時間には、高等部1年生の生徒が、接遇の学習の成果を生かして、委員の方に珈琲を出しました。緊張していることが伝わると共に、「ありがとう」の言葉に笑顔。日々の学習の成果を生かし認められる場がとても大切です。

委員の方々からの言葉「顔と顔をあわせてつながる」「支援者同士のつながり」など、学校と地域・関係機関のつながり、地域に支えられていることを実感できる会でした。

今年度、地域の方に「真備・船穂総踊り」を教えていただいたり、まきび公園の花壇整備をしたりなど、新しい取り組みがありました。令和5年度も、地域とともにある学校づくりを通して、恵まれた地域資源を生かして、児童生徒が、日々の学習で培った力を、校外で発揮し自信をつけると共に、地域貢献を通して自己有用感を高める活動などを深めていきたいと思ひます。

（副校長 小野浩）

